

日本海溝におけるプレート間相互作用による東北日本背弧域の震源断層への応力蓄積
 橋間 昭徳（海洋研究開発機構），佐藤 比呂志，石山 達也（東京大学地震研究所）

- ポイント
- ・ 日本列島域の構造を考慮した有限要素モデルによる東北日本の地殻変動データ解析
 - ・ 東北日本背弧域の震源断層において 2011 年東北沖地震前後のクーロン応力を計算
 - ・ 震源断層上のクーロン応力は、2011 年以前の M7 内陸地震の頻発と 2011 年以降の静穏化を概ね説明できる

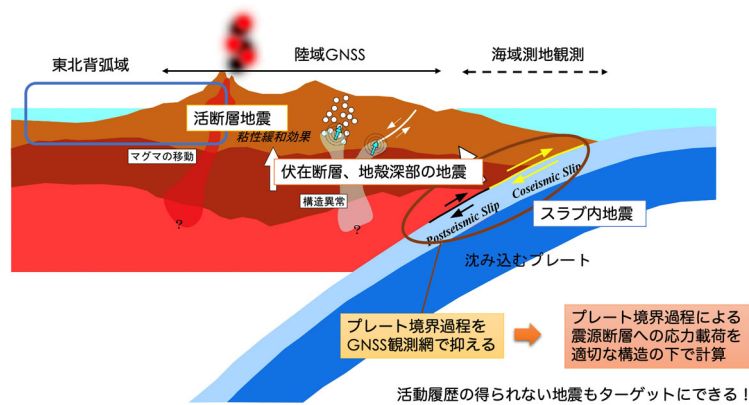


図1 本研究による震源断層上の応力計算の概念図

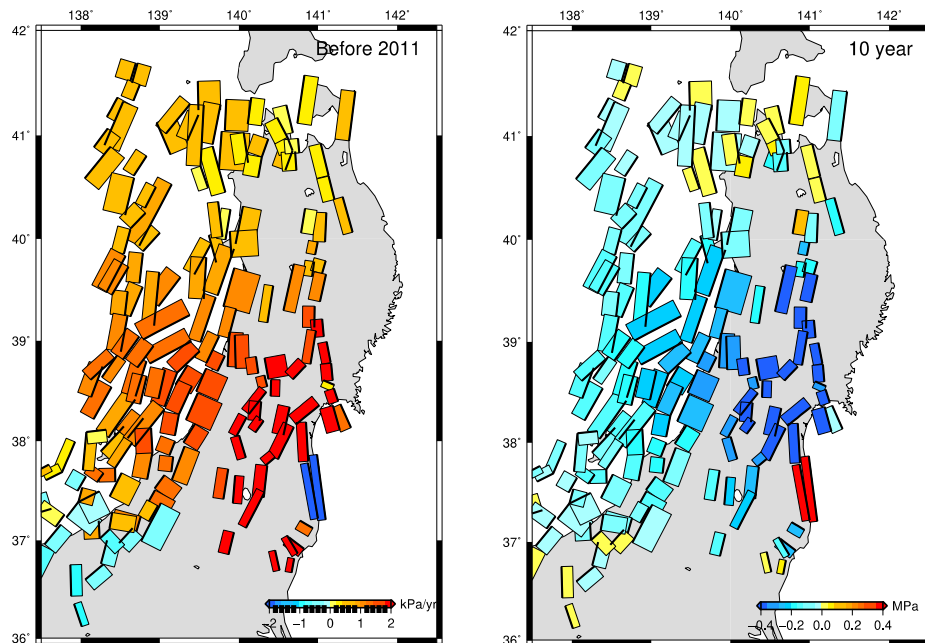


図2 東北地方の震源断層におけるクーロン応力。左は東北沖地震前，右は東北沖地震発生10年後。黄色－赤色は断層運動を促進，水色－青色は断層運動を抑制する応力を示す。